

(お 知 ら せ)

平成31年1月16日
中国電力株式会社
岡 山 支 社

「新成羽川ダム他の操作に関する技術検討会」の設置 および第1回検討会の開催について

当社は、本日、「新成羽川ダム他の操作に関する技術検討会（以下、検討会という。）」を設置し、第1回目の検討会を開催しました。

これは、平成30年7月豪雨により高梁川水系において甚大な洪水被害が発生したことを踏まえて拡大・再編された、国土交通省主催の「高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会（以下、協議会という。）※」に当社もダム管理者として参加しており、当社として技術的に実施可能な事前放流等について検討していくものです。

今後、学識経験者および河川管理者のご意見、ご指導を頂きながら検討を進め、検討結果を協議会等に報告し、当社として可能な協力をしていきたいと考えています。

※高梁川水系における堤防の決壊や越水等に伴う大規模な浸水被害に備え、隣接する市や県、国およびダム管理者等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的かつ計画的に推進し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした協議会。平成30年7月豪雨災害を踏まえて平成30年12月27日に拡大・再編された。

1. 検討内容

(1) 事前放流の実施可能性

当社のダムは、治水機能を持たない発電専用のダム（利水ダム）であるため、事前放流を行うためにはダムの構造上の制約がある。これを踏まえて、事前放流の諸条件の検討および効果の確認を行い、実施可能性を検討する。

(2) ダム情報の取り扱い

早期避難勧告等に適切につながる、より効果的なダム情報伝達および公開のあり方を検討する。

2. 検討対象

名称	ダム位置	(参考) 発電設備	
		発電所名	発電出力
<small>しんなりわがわ</small> 新成羽川ダム	高梁市備中町	新成羽川発電所	303,000kW
<small>たはら</small> 田原ダム	同上	田原発電所	22,000kW
<small>くろどり</small> 黒鳥ダム	同上	黒鳥発電所	2,200kW

3. 当面の予定

平成31年4月までに4回程度検討会を開催する。検討結果は、協議会等に報告し、本年梅雨時期（6月末頃）から随時実行に移す予定。

4. 委員構成

(敬称略)

区 分	氏 名	職 名
学識経験者	角 哲也	京都大学防災研究所水資源環境研究センター教授
	前野 詩朗	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	近森 秀高	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
河川管理者	岩崎 福久	国土交通省中国地方整備局河川部長
	三戸 雅文	国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所長
	樋之津 和宏	岡山県土木部長
当社	吉岡 一郎	電源事業本部部長（水力）
	内倉 伸晃	電源事業本部東部水力センター土木第六課長

以 上